

スーテントカプセル 12.5mg

【この薬は？】

販売名	スーテントカプセル 12.5mg SUTENT Capsule
一般名	スニチニブリンゴ酸塩 Sunitinib Malate
含有量 (1カプセル中)	16.7mg (スニチニブとして12.5mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗悪性腫瘍剤に属する薬です。
- ・この薬は、複数のタンパク質リン酸化酵素を阻害することにより、腫瘍への血液供給を阻害し、腫瘍の増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

イマチニブ抵抗性の消化管間質腫瘍

根治切除不能又は転移性の腎細胞癌

隣神経内分泌腫瘍

- ・イマチニブ抵抗性の消化管間質腫瘍、根治切除不能または転移性の腎細胞癌において、この薬の手術前および手術後の補助化学療法としての有効性および安全性は確立していません。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要

です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 患者の皆様や家族の方は、この治療の必要性や注意すべき点などについて十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意してから使用が開始されます。
- 心不全（息切れ、動く時の動悸（どうき）など）等の重篤な心障害があらわれることがあります。死亡に至った例も報告されていますので、この薬の使用前に心機能の検査が行われます。またこの薬を飲んでいる間にも、心機能検査が行われることがあります。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】と副作用は？の項をよくお読みください。
- 可逆性後白質脳症症候群（かぎやくせいこうはくしつのうしょうしょうこうぐん）（頭痛、ぼんやりする、考えがまとまらない、物が見えにくい、けいれん）があらわれることがあります。副作用は？の項をよくお読みください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にスーテントカプセルに含まれる成分で過敏症を経験したことがある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。
 - ・QT間隔延長のある人または過去にQT間隔延長があった人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・イマチニブ（グリベック）に忍容性のない（副作用のためイマチニブ（グリベック）による治療ができなくなった）消化管間質腫瘍の人
 - ・骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）のある人
 - ・高血圧の人
 - ・心臓に障害がある人または過去に心臓に障害があった人
 - ・脳血管障害のある人または過去に脳血管障害があった人
 - ・肺塞栓症の人または過去に肺塞栓症にかかったことがある人
 - ・脳に転移がある人
 - ・甲状腺機能に障害のある人
 - ・肝臓に重い障害がある人
- この薬には併用を注意すべき薬や飲食物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬の使用前に、血液検査、心機能検査、甲状腺機能検査などが行われます。
- この薬によって毛髪や皮膚の色が変わることがあります。飲み始める前にこれらのことについて説明を受けてください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

なお、サイトカイン製剤を含む他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性及び安全性は確立していません。

【イマチニブ抵抗性の消化管間質腫瘍、根治切除不能又は転移性の腎細胞癌】

一回量	4 カプセル
飲む回数	1 日 1 回

- ・通常、4 週間連続で飲み、その後 2 週間休みます。これを 1 コースとして繰り返します。
- ・副作用などにより、休みの期間が延ばされたり、使用が中止されたりすることがあります。

【膵神経内分泌腫瘍】

一回量	3 カプセル
一日最大量	4 カプセル
飲む回数	1 日 1 回

- ・副作用などにより、飲む量が減らされたり、使用が中止されたりすることがあります。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れに気がついた場合には、その薬は飲まずにとばして、次の決められた時間に次の薬を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少）があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われます。
- ・高血圧があらわれることがあるので、定期的に血圧測定が行われます。
- ・腫瘍が変形したり縮小したりして、出血があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われます。また肺に腫瘍のある人では、生命を脅かすような重い喀血（血を吐く）または肺出血（血の混じった痰）があらわれることがあるので、異常を感じたら、ただちに受診してください。
- ・脳に転移がある人では、脳出血があらわれることがあります。飲み始めたときに脳に転移がない人でも、神経学的症状（頭痛や手足の麻痺など）があらわれたら、ただちに受診してください。
- ・不整脈の治療薬を飲んでいる人、不整脈につながる心疾患、徐脈または電解質異常になったことのある人は、心室性不整脈（動悸（どうき）、脈が早くなるなど）があらわれることがあるので、異常を感じたら、ただちに受診してください。
- ・心不全、左室駆出率低下（さしつくしゅつりつていか）（全身のむくみ、息苦しいなど）があらわれることがあるので、異常を感じたら、ただちに受診してください。心機能検査が行われます。
- ・定期的に膵酵素検査が行われます。また、腹痛などの膵炎が疑われる症状があらわれた場合に、画像診断が行われます。
- ・甲状腺機能低下症（からだがかたまり、寒がりになる、むくみなど）または亢進症（体重が減る、胸がドキドキする、手のふるえなど）があらわれることがあるので、症状がみられた場合に甲状腺機能の検査が行われます。

- ・肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査が行われます。
- ・皮膚の乾燥、肥厚、ひび割れ、手のひらや足の裏に水ぶくれや発疹があらわれることがあります。皮膚症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。必要に応じて、皮膚科を受診するよう指示されることがあります。
- ・めまい、傾眠（眠気でぼんやりする）、意識消失（意識がなくなる）などの症状があらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械を操作するときには注意してください。
- ・妊娠する可能性のある人は、この薬を使用している間は避妊してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・グレープフルーツジュースによって、この薬の作用が強くなる場合がありますので、飲むのは避けてください。
- ・セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）を含有する食品によって、この薬の作用を弱めることがあるので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
骨髄抑制 こつぜいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸、息切れ
感染症 かんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい
高血圧 こうけつあつ	頭痛、肩こり、めまい、動悸、息切れ、顔のほてり、体がだるい
出血 しゅっけつ	出血
消化管穿孔 しょうかかんせんこう	吐き気、嘔吐（おうと）、寒気、発熱、激しい腹痛、ふらつき、息切れ、意識の低下
QT間隔延長 キューティーかんかくえんちよう	めまい、動悸、気を失う
心室性不整脈（T o r s a d e d e p o i n t e s を含む） しんしつせいふせいみやく（トルサードポワンをふくむ）	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う
心不全 しんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
左室駆出率低下 さしつくしゅつりつていか	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加

重大な副作用	主な自覚症状
肺塞栓症 はいそくせんしょう	胸の痛み、突然の息切れ
深部静脈血栓症 しんぶじょうみやくけっせんしょう	発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のむくみ、下肢の痛み
血栓性微小血管症 けっせんせいびしょうけっかんしょう	血が出やすくなる、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、血尿
一過性脳虚血発作 いっかせいのうきよけつほっさ	突然片側の手足が動かしにくくなる、突然片側の手足の感覚障害がおこる、突然言葉が出にくくなる、突然視力障害がおこる、突然めまいがおこる、突然飲み込みにくくなる、突然ろれつがまわらなくなる
脳梗塞 のうこうそく	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
播種性血管内凝固症候群 (DIC) はしゅせいけっかんないぎょうこしょうこうぐん (ディーアイシー)	あおあざができる、鼻血、歯ぐきの出血、血尿、便に血が混じる、意識の低下、息切れ、動悸、尿量が減る、皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる
てんかん様発作 てんかんようほっさ	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
可逆性後白質脳症症候群 かぎやくせいこうはくしつのうしょうしょうこうぐん	頭痛、意識の低下、意識の消失、けいれん、視力障害
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中での痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
甲状腺機能障害 こうじょうせんきのうしょうがい	疲れやすい、まぶたが腫れぼったい、寒がり、体重増加、いつも眠たい、便秘、かすれ声、脱毛 動悸、脈が速くなる、手指のふるえ、体重減少、汗をかきやすい、イライラする、微熱
肝不全 かんふぜん	意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
急性胆嚢炎 きゅうせいたんのうえん	発熱、寒気、白目が黄色くなる、右上腹部の痛み、吐き気、上腹部が張った感じ、嘔吐
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい


重大な副作用	主な自覚症状
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重の増加
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
ミオパシー ミオパシー	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
副腎機能不全 ふくじんきのうふぜん	体がだるい、意識の低下、意識の消失、嘔吐、食欲不振、発熱、冷汗が出る、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる
腫瘍崩壊症候群 しゅようほうかいしょうこうぐん	意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ
皮膚粘膜眼症候群 ひふねんまくがんしょうこうぐん	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、出血が止まりにくい、体がだるい、出血、ふらつき、疲れやすい、むくみ、体重の増加、血が出やすくなる、顔や手足の筋肉がぴくつく、けいれん、疲れやすい、寒がり、脱毛、体重減少、汗をかきやすい、微熱、体がかゆくなる、急激に体重が増える、力が入らない、脱力感、冷汗が出る
頭部	頭が重い、頭痛、めまい、意識の低下、気を失う、突然めまいがおこる、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい、一時的にボーっとする、意識の消失、いつも眠たい、イライラする
顔面	鼻血、顔のほてり、顔面蒼白
眼	突然視力障害がおこる、白目が黄色くなる、視力障害、まぶたが腫れぼったい、目の充血やただれ
口や喉	喉の痛み、歯ぐきの出血、吐き気、嘔吐、唇が青紫色になる、突然言葉が出にくくなる、突然飲み込みにくくなる、突然ろれつがまわらなくなる、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、かすれ声、血を吐く、咳、唇や口内のただれ
胸部	動悸、息切れ、胸の不快感、息苦しい、息切れ、胸の痛み、突然の息切れ
腹部	激しい腹痛、激しい上腹部の痛み、お腹が張る、食欲不振、右上腹部の痛み
背中	背中での痛み

部位	自覚症状
手・足	手足の爪が青紫～暗紫色になる、下肢のむくみ、下肢の痛み、突然片側の手足が動かしくくなる、突然片側の手足の感覚障害がおこる、突然片側の手足が動かしくくなる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、脈が速くなる、手指のふるえ、手足のこわばり、手足のしびれ、手足が冷たくなる、関節や喉の痛み
皮膚	あおあざができる、皮膚が青紫色～暗紫色になる、皮膚が黄色くなる、お腹にあざができる、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
筋肉	肩こり、筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
尿	血尿、尿量が減る、尿の色が濃くなる、排尿時の尿の泡立ちが強い、尿が赤みを帯びる、尿が赤褐色になる
便	便に血が混じる、便秘、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）

【この薬の形は？】

形状	 <p>4号硬カプセル</p>
長径	14.3 mm
短径	5.3 mm
色	キャップ：濃赤褐色、ボディ：濃赤褐色
識別コード	P f i z e r S T N 1 2 . 5 m g

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	スニチニブリンゴ酸塩
添加物	D-マンニトール、クロスカルメロースナトリウム、ポビドン、ステアリン酸マグネシウム (カプセル本体) ラウリル硫酸ナトリウム、三二酸化鉄、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。

- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社

(<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/index.html>)

製品情報センター

患者さん・一般の方：0120-965-485

FAX：03-3379-3053

受付時間：月～金 9時～17時30分

(土日祝祭日を除く)